

ペットに寄り添う人々

向後先生ともお話ししたのですが、ホリスティックな世界では「治す」ということが最終的なゴールではなくてきますよね。先程赤石先生が仰っていた生活の質を高める、慢性的な病気はもしかしたら最終的には治らないかもしれないけれども、それと付き合っていく、ペットにとっては無理なく生きていく、それを見ていく飼い主さんもそうやってそのペットの命が少しずつ消えていくことを受け入れていく感じですね。

赤石先生 飼い主さんが不安でいっぱいだと、飼い主さんとペットでお互いにとって良くないんだけど、どうしてもそうになってしまうことが多いですね。それがもっと和らいで「良い時間を過ごしていこう」という気持ちになれたらいいですね。

\*居心地の良いスペースを目指して

お仕事をなさっていて一番大事にされていることは何ですか？

赤石先生 なるべく飼い主さんと信頼関係を築いていけたらと思っています。同じことをしていてもそれがどういう関係の中でやっていかで結果が全然違ってくと思います。そんなにできることがなくても、病院に来たことで安心して暮らして、落ち着いて最期を迎えられたり。安心して病院に通ってもらって、飼い主さんも落ち着いた気持ちになってもらえたらいいなと思っています。あまり「病院」という感じではなく、カフェのように気軽に入れるような感じを目指しています。



写真上・女性らしく親しみやすい雰囲気を  
お持ちの赤石先生。言葉遣いも丁寧で、  
癒し効果も高い印象でした。  
写真下・院内のいたるところに、ほっと和  
めるインテリアや飾りがあります。飼い主  
さんがリラックスできることが、ペットの  
健康につながるのです。

ホモトキシコロジーとは…

ハンス・ヘインリッヒ・レックベック博士が生み出した医学理論であり、この理論に従い、ドイツのHeel社で作られたホモトキシコロジー製剤と呼ばれる治療薬や内服薬などを使用して行う治療。ホモトキシコロジーでは、体にとって有効な毒素（ホモトキシン）が病気を引き起こすという事実がもとになって確立されている。この毒素をホモトキシコロジーのレメディを使って体から排泄することで、病気を治療していく。

4回にわたってこうご動物病院の取り組みをお届けしました。ありがとうございました！

飲用量の目安

病気や症状改善が目的の場合  
体重1kgにつき1mlを  
1日2~3回

健康維持が目的の場合  
体重1kgにつき1mlを  
1日1回

※左記の飲用量、飲回数を多く与えても害はありません。バランスアルファをペットに飲ませている飼い主様のお話によると、病気や症状改善が目的の場合は、多めに与えた方がバランスアルファの効果は早い時期に実感できることが多いようです。

※ペットがそのままでは飲まない場合は、飲み水(塩素の入った水道水は避けて下さい)に加えるか、ペットフードに混ぜて与えても効果効能は変わりません。

※バランスアルファはどんな薬と併用しても副作用はありませんのでご安心下さい。G注意：60度以上加熱することは避けて下さい。



ペットのすこやかな毎日のために。

無料サンプルをお試し頂けます

☎ お電話 ☎ FAX

☎ 0120-76-5812

9時~17時 土日祝休  
050からはじまる電話番号からは  
03-3576-5811へ

🌐 インターネット 📧 郵便 でもお申し込み頂けます！

500ml 1本  
無料で進呈  
します！



株式会社高橋剛商会 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 2-16-4 <http://www.balance-alpha.com/jp/>

大切な家族を思うあなたのための情報紙

バランスアルファ

ペット通信

第16号

ペットの体調をととのえる



今月の  
テーマ

ペットの花粉症

2018年が暮を開け、早くも2ヶ月が経とうとしています。まだしばらくは寒い日が続きますが、道端の植物たちをよく観察して見ていると春に向けて少しずつ動き始めているのが感じられますね。あたたかい春の訪れは、私たちだけでなくペットにとっても嬉しいこと。ですが、この時期ある症状に悩まされている方が多いのではないのでしょうか。…そう、「花粉症」です。花粉症の症状は花粉が飛散する間、長期にわたって私たちに悩ませ、春の喜びを半減させてしまいますよね。さて、この「花粉症」、私たち人間だけのものと思いきや、なんとペットも花粉症になることをご存知ですか？そして、最近ではなんとペットの花粉症が急増してきているようです。人間の花粉症の原因は、スギ・ヒノキなどですが、ペットの場合、ブタクサなどのイネ科の植物が原因となっていることが多いため、数ヶ月にわたって苦しむペットも…

今回はペットの花粉症対策についてご紹介していきます。

## ペット通信

### 花粉症を発症したら、重症化させないことが大切です

人間もペットも花粉症の症状は突然起こります。今まで何も症状がなくても、急に発症することもよくあるのです。また、ペットの花粉症は人間の花粉症の症状と違って、体の痒みとしてあらわれることが多いため、飼い主さんはなかなか気づきにくいようです。花粉症はスギやヒノキ、ブタクサ、イネ科の植物などの花粉がペットの体内に侵入した際に、ペットの体がアレルゲンである「花粉」に過剰に反応してしまうために起こるアレルギーです。そのため、病院ではアレルギーの治療を行うことになり、抗ヒスタミン剤やステロイド剤を服用する対処治療を行うのが一般的なようです。短期的にステロイド剤を使用する場合はあまり問題ないのですが、ステロイド剤を長期的に使用した場合、副作用が出る可能性があります。また、ステロイド剤は一時的に症状を抑えるだけで、根本的な解決にはなりません。ペットの健康を考えると、なるべくお薬に頼ることなく、この時期を乗り越えられると良いですね。ペットが花粉に触れる機会をできるだけ減らし症状が出ないようにすること、症状が出てしまった場合でも重症化させないようにすることが何よりも大切です。花粉症による皮膚の痒みなどを放っておくと、ペットは全身を掻き続け、皮膚が腫れたり、毛が抜けたりすることもあるので、なるべく早めに獣医師さんに診てもらうようにしましょう。

花粉飛散量は、その日の天候や温度などによって変わってきますので、新聞やニュースの花粉の飛散予測などを参考にしましょう。花粉が多く飛びやすい日は、①晴れまたはくもりの日、②最高気温が高い日、③湿度が低い日、④風の強い日、⑤雨が降った翌日、です

### 犬の花粉症の症状

犬は花粉症を発症すると、目の痒みや鼻水、くしゃみといった人間の花粉症の症状が出る場合もありますが、犬の花粉症は目や皮膚の痒みが主な症状です。犬がいつもより、耳や目、口を掻いていたり、体を痒がって家具などに体をこすりつけていたら、それは花粉症の症状かもしれません。

#### 犬の花粉症対策

- 散歩の時間を花粉の飛散の少ない時間に変える。
- 被毛や足に花粉が付着しないように、ペット用の被服や靴下で保護する(被服はナイロン素材などの花粉を通しにくい素材を選ぶ)。
- 外出から家に入る前に、ブラッシング等をして体に付着している花粉を取り除き、室内に花粉が入るのを防ぐ。その後室内に入ったら玄関で不織布や濡れタオルを使い、犬の体から花粉を拭き取る。顔や足にも花粉が沢山付着しているので丁寧に拭き取る。

### 猫の花粉症の症状

猫の花粉症は、皮膚の痒みの他、鼻水、くしゃみ、目の痒み・腫れ、目やに、皮膚の掻きすぎによる脱毛などの症状です。また、猫は匂いで食欲が刺激されるので、鼻が詰まると食欲がなくなってしまうこともあるようです。

#### 猫の花粉症対策

花粉が飛散している時期に猫を外に出すと猫は花粉まみれになってしまい、花粉症になる確率もぐんと高くなってしまいます。この時期はなるべく猫を外に出さない方がよいのですが、いつも外に出かけている猫にとっては、外出できないことでストレスがたまりやすくなってしまいます。毎日の花粉飛散情報などを参考にして、花粉が比較的少ない日には外に出してあげるようにしましょう。それでも、普段の時期と比べると外に出られる日は圧倒的に少なくなってしまうので、花粉が飛ぶ時期は、室内でキャットタワーやおもちゃを用意し、普段よりも一緒に遊んであげる時間を増やしましょう。

### 犬猫共通の花粉症の対策

- 室内に空気清浄器を設置し、花粉を駆除する。
- 花粉が多く飛散している時は、室内に花粉が入らないように窓はできるだけ閉めておく。
- 掃除をこまめにする。
- ペットの被服などをこまめに洗濯する。
- ハウスやベッドなどペットが長時間過ごす場所は、クッションやブランケットなどに花粉やほこりがたまりやすいので、掃除機などで花粉を取り除く。
- 洗濯物の外干しを避ける。
- 花粉症の時期は普段よりこまめにシャンプーをする。ただし、花粉症のペットの皮膚はデリケートなので、皮膚にやさしい成分で作られているペット用のシャンプーを使う。
- ペットだけでなく人間の髪や衣服にも花粉は付着しやすいので、室内に入る前に花粉をきちんと払ってから入る。

ペットの花粉症対策は、人間の花粉症対策と概ね同じです。飼い主さんご自身がする花粉症対策に、今回ご紹介したペットの花粉症対策を付け加えるだけで、飼い主さんもペットも快適に花粉症の時期を過ごせるかもしれません。ペットは私たち人間のように自分で花粉を予防することができません。人間の花粉症も辛いものですが、ペットにとってはそれ以上に辛いもの…。ペットが花粉症にならないために、積極的に対策をしてあげましょう。もし、ペットに花粉症のような症状が出た場合は、獣医師に早めに相談しましょう。花粉によるアレルギーなのか、ノミやダニによるものなのかは調べてみないとわかりません。別の病気の可能性もありますから、早めに診察・検査を受けるようにしましょう。



東京都多摩市にあるこうご動物病院。西洋医学をベースに、鍼治療・漢方などの東洋医学やホリスティック医療を積極的に取り入れた独自の治療を行い、病気になるってしまったペットでも最善の状態でも過ごせるよう、様々な治療法を提案されています。

### 「命」に寄り添う ~こうご動物病院の取り組みから~

赤沢先生 私は向後先生が独立して、一年ほど経ってからこちらで働いています。最初に働いていた動物病院をやめてから心身ともに疲れてしまい、動物病院はもうやめようと思っていたのですが、友人の影響でホリスティックやスピリチュアルに興味を持ち始めました。ちょうどその時に自然療法や鍼灸をやっている動物病院があると知って最初はバイトをさせて頂いて、その後正式に社員になりました。

#### \*眼科を学ぶ

赤沢先生は眼科を担当されているとのことですが、ペットの眼の疾患は多いのでしょうか？

赤沢先生 そうですね、人間と同じように白内障や緑内障があるのですが、加齢によってだけでなく犬種によってなりやすいというのがあります。眼は普通に獣医をやっているだけではそんなに詳しくない分野で正直苦手だったのですが、ペットの眼の相談が来ないわけではないのでやはり勉強しなければと、院長と二人でセミナーに行き始めました。少しでも苦手意識をなくしたかったのですが、座学だけだとなかなか難しく、それで教えていた先生に相談したら、埼玉に動物総合病院という大きな臨時診療施設があって、そこでその先生が月一回診察をしているのですが、「先生が見ている映像がモニターできちんと映るので勉強になると思うよ」と教えて下さり、月一回、そこで勉強させて頂いています。

ペットの眼の疾患は治療すると治っていくものなのでしょうか？

赤沢先生 白内障はレンズが真っ白になってしまうと、光を通さなくなるので見えなくなってしまうんですね。でも手術ができる段階であればレンズの中身を取り出して、透明なものを入れ替えることで見えるようになります。ただ皆が皆、そこまで白濁していくわけではないので、進行を遅らせる目薬で維持している子もいます。手術をすると炎症をコントロールするためのケアが必要になります。

#### \*ホモトキシコロジーという治療法

他の先生もご自分の得意分野をそれぞれお持ちなののでしょうか？

赤沢先生 はい、鍼治療をやる先生もいます。ホモトキシコロジーは院長が開院した当初から使っているのですが、治療の一環で使いながら感触を得ています。

ホモトキシコロジーは毒素を外に出すという考え方でしょね？

赤沢先生 そうですね、ホモオパシーが使いやすく組み合わせられたようなもので、エネルギー療法とか波動に近い感じですね。

具体的にどんな症状に使うのでしょうか？

赤沢先生 色々な疾患に対してですが、腎臓の病気が一番多いですね。使っているととても良いという感触があります。長生きの猫ちゃん



赤沢美希先生プロフィール  
日本大学獣医学部卒業。都内の動物病院に3年勤務後、2010年10月よりこうご動物病院へ。ペットの眼科専門セミナーに毎月通い、ペットの眼の病気の治療に力を注いでいる。

は腎臓機能が落ちてしまう子が非常に多いので、必ずおすすめしています。ホモオパシーだとその子に合うものをものすくい量の中から選び出すことになるのですが、ホモトキシコロジーは、使いやすいように既に作られているのでいいですね。数値がすぐ変わるわけではないけど生活の質が上がって、気持ちよく過ごせたり、ごはんを食べられるようになったり、最期の時に静かに向かっていけるような感じがあります。

自然療法に興味を持たれたのは、どんなことからだったのでしょうか？

赤沢先生 西洋医学だとなかなか解決できないことが多いという…。必要な時に必要な薬をバツと使うこともありますし、必ずしも薬を使いたくないというわけではないのですが。ただ慢性的な病気の場合に、この薬をずっと使い続けていても本当の改善になるのかな？という治療が西洋医学では多い気がするんですね。自信を持って「これがいいことだよ」と言えないというか。自分だったらやらないような抗がん剤を動物には「一般的にはこれをやるものだから」と使っていくことがやっぱり嫌だなと。自分が「いいな」と思っていないのに、それで治療していくのもあと気が進まないのもありました。獣医から一度離れてから、一般的な西洋医学だけでない方向もあるのかと分りその方向でやってみてもいいかなと思いました。そうはいっても全部が西洋医学抜きに治療できているわけではないので、うまく組み合わせながらやっています。院長がなるべく自然療法を使って治療したいと強く思っているのていりんなことを取り入れ試しています。

(次ページへ続く)

第4回(最終回) “思いを共有する” スタッフと共に